

日本骨髓バンクの現状（2025年12月末現在）※数値は速報値のため訂正する場合があります。

登録者数	2025年11月	2025年12月	現在数	累計数
ドナー	2,701	2,449	565,837	1,019,827
患者	189	220	1,765	72,797

<年代別ドナー登録者現在数>

約43%	10代	5,043
	20代	101,022
	30代	137,566
	40代	206,936
	50代	115,270

<12月区分別ドナー登録者数>

献血ルーム	531人
献血併行型集団登録会	1,864人
集団登録会	0人
その他	54人

採取数	2025年11月	2025年12月	累計数
骨髓	60	33	27,523
末梢血幹細胞	37	34	2,770
合計	97	67	30,293

2023年8月号から海外採取は含まず、国内の採取のみを掲載しています。

2025年のドナー登録者は31,647人

2025年の新規ドナー登録者は31,647人となり前年度より5,694人減少しましたが、2025年12月末現在の登録者数は565,837人となり、10代～30代は前年末と比べて4,135人増加しました。若い世代への広がりが着実に広がっております。

全国のボランティアの皆様をはじめ、関係各方面のご協力に感謝申し上げます。今後もいっそう若年層ドナーを中心とした登録拡大を目指してまいります。

スワブトライアル3 いよいよ1月20日（火）より開始

2026年1月20日（火）からスワブトライアル3がスタートします。年度内に3000名のドナー登録をめざします。

「#スワブ登録はじめます」チラシのご要望を既に多くいただいております。二十歳のつどいや語りべ講演会での配布など、ご尽力を頂き誠にありがとうございます。引き続き、様々な普及啓発の機会を通じて、スワブでドナー登録ができることについて、告知のご協力をお願い申上げます。

また、20日（火）日中帯より、日本骨髓バンクの公式SNSでスワブトライアル3の告知を実施いたします。つきましては、各自治体・団体等のアカウントで、ぜひ、シェアや拡散をお願いいたします。登録のための専用サイトは同日午前9時よりアクセス可能になります。

※直後はキャッシュが残っている可能性があるため、ブラウザのキャッシュクリア・履歴削除等をしてアクセスしてください。



読売巨人軍の3選手が東海大学病院を訪問

12月17日（水）、読売巨人軍の大城卓三選手・中川皓太選手・山崎伊織選手が東海大学医学部付属病院を訪問しました。

院内で行われたクリスマス会に参加し、入院中の子どもたちを元気づけてくれました。

準備体操の後はチームに分かれて輪投げ対決を行ったり、選手とキャッチボールを楽しんだりと、笑顔あふれる交流の時間に。

会の最後には、クリスマス衣装に着替えた選手たちから、入院中の子どもたち全員へプレゼントが手渡され、病院内はたくさんの笑顔に包まれました。



品川女子学院作画部メンバーが骨髓バンクに寄付

12月22日（月）に東京・品川にある品川女子学院の作画部の皆さん
が骨髓バンクに来訪し、文化祭で販売したオリジナルグッズなどの
収益金や「東京雪祭 SNOWBANK PAY IT FORWARD 2025」の会場で集
めた募金をご寄付くださいました。

品川女子学院の作画部の皆様は、移植経験者の体験談を聞いたこ
とをきっかけに長年骨髓バンクをご支援くださっており、特に毎年
開催される文化祭では、テーマを決めて作品発表やグッズ販売を行
い、その売り上げを骨髓バンクにご寄付くださっています。本年は
初めての取り組みとして、「東京雪祭 SNOWBANK PAY IT FORWARD
2025」に参加し、来場するこどもたちがアートテントに絵を描く活
動のサポートや、骨髓バンクブースでの募金呼びかけにご参加くだ
さいました。

品川女子学院作画部の皆様には3学期始業式で、スワブトライアル3の告知にもご協力いただきました。ご支援に感謝申し上げます。



「令和7年度 愛顔の骨髓バンク高校生セミナー」開催

12月14日（日）、愛媛県主催にて白血病などの治療に必要な骨髓移植への理解を深めるため、若い世代への
啓発を目的とした「愛顔の骨髓バンク高校生セミナー」が開催され、愛媛県内の高校生17名が参加しました。

セミナーでは、日本骨髓バンクの語りべによる講演が行われ、骨髓バンクの現状や課題についてを学び、
移植経験者やドナー提供者の体験談を聞くことで、造血幹細胞移植の重要性を実感しました。

その後、愛媛県骨髓バンクドナーサポートクラブの協力によるドナー登録説明員の研修や、献血ルームの
見学を実施。ドナー登録のために活動している説明員との交流を通じて、骨髓バンクについて考え、理解を
深める機会となりました。

若い世代のボランティアを育てることは、同じ世代のドナーを増やす大きなチャンスにもつながります。
毎年このセミナーを開催してくださる皆さまのご協力に、感謝申し上げます！



全国で専門学校等を運営している滋慶学園COMグループでは、骨髓バンクへの理解を深めてもらおうと、1994年からミュージカル「明日への扉 Hospital Of Miracle」を上演し、骨髓移植によって救われる命があることを、長年にわたり伝え続けてくださっています。

このたび在校生による「明日への扉 Hospital Of Miracle」大阪公演がザ・シンフォニーホールにて開催されました。

ユーモアの中に温かさのあるシーン、胸を打つ感動的な場面、そして華やかなダンスシーンまで、さまざまな要素が盛り込まれており、学生の舞台とは思えないほどの迫力と、命と真正面から向き合う真摯な想いが客席に強く伝わり、最後まで引き込まれる公演でした。

なかでも圧巻だったのは、ラストに行われた全キャスト・スタッフ総勢300人以上による「一礼」。その光景からは、公演にかける想いと長年受け継がれてきた取り組みの重みが強く感じられました。



ドナー助成制度導入、1108自治体に

「骨髓バンクを通じて骨髓または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が下記の自治体で導入され、全国で1108自治体となりました。（2025年12月末現在、当法人把握分）

○鹿児島県 枕崎市 さつま町 南さつま市 南九州市

助成内容は各自治体により異なりますので、直接お問い合わせください。

■導入リスト https://www.jmdp.or.jp/pdf/donation/donorsupport/assistance/donor_municipality.pdf

◇ドナー助成制度問い合わせ先

日本骨髓バンク広報渉外部 ドナー助成制度担当 03-5280-1789（平日9時～17時30分）

ドナー休暇制度導入、926企業・団体に

就業ドナーの方にとって提供しやすい環境を整備するため、「ドナー休暇制度」の導入を全国の企業や団体へ呼びかけております。

現在926の企業や団体、大学等が導入しています（2025年12月末現在、当法人把握分）。

■導入リスト <https://www.jmdp.or.jp/pdf/donation/donorsupport/donorleave/donorleave.pdf>

既に制度を導入・運用していて上記リストに未掲載の場合は、下記の問い合わせ先までご一報ください。
申請に必要な「導入連絡書」（エクセルファイル）は[こちら](#)からダウンロードしてご利用ください。

◇ドナー休暇制度・ドナー公欠制度問い合わせ先

日本骨髓バンク広報渉外部 ドナー休暇・公欠制度担当 03-5280-1789（平日9時～17時30分）